

山と花のたより 139号

2011年9月15日 松尾

メールアドレス tadashi6414@smile.ocn.ne.jp

2011年9月9~11日 サークル発表交流会

土庫病院友の会主催 山歩きクラブも展示

話題呼んだ花と活動の写真

土庫病院友の会は9月9日~11日にかけて、サークル発表交流会を開きました。会



場は大和高田市内のさざんかホール。展示ホールでは3日間に亘って、写真、水彩画、書道、リフォーム、山歩きの各サークルがそれぞれの作品や活動紹介の展示をし、小ホールでは10日大正琴、新舞踊、フラダンス、気功、3B体操、カラオケ、懐メロ、リフォーム、着付けなどのサークルが演技・演奏を披露しました。

3日間で延べ850名の会員、市民が訪れて鑑賞、交流を深め合いました。参加した人は「こんなにたくさんの方が来るとは思わなかった。元気いっぱいの雰囲気ね」と語り、大阪府下から来た人は「こんなに立派な作品展や演奏会ができるなんて、友の会ってすごい」と感心していました。

山歩きクラブのコーナーでは「二上山の花」や例会登山の記念写真組版を多くの人が鑑賞、クラブへの入会5人、友の会入会1人でした。

スズムシバナ 久々の再会

写真の花はキツネノマゴ科イセハナビ属のスズムシバナ、今咲いています。

2年前に二上山東山麓で花を開いた数株を見たきり、なかなか出会えませんが、最近山歩きクラブのMさんらが少し離れた場所で群落を発見。

鈴虫の鳴く頃に咲き始めるのでこの名が。別名スズムシソウ。ラン科にもスズムシソウがあり、こちらは花の姿が鈴虫に似るところからのネーミングで、花期は4~6月。 Mさん有難う。



カサブランカ と 山百合

長崎の同窓生からメールが届き、カサブランカの満開の写真が添えられていました。

カサブランカと言えば、確か高校時代に観た映画「カサブランカ」を思い出します。映画の舞台は第2次世界大戦さなかのアフリカ・モロッコの都市カサブランカ。ナチスドイツの追及から逃れようとするレジスタンスの活動家、それを助ける男にハンフリー・ボガード、その元恋人

で現在活動家の妻にイングリッド・バーグマン。ボガード扮する主人公の、権力におもねない男っぽさとバーグマンの美貌、ファシズムに抵抗する市民の姿など忘れられない名画でした。

カサブランカの母株・ヤマユリ

さてこのカサブランカは都市の名ですが、元々は「白い家」の意。日本のユリなどをかけ合わせて作られた白色大輪のユリにこの名がつけられ、世界中で愛好されています。

そして、その交配の重要な母株が日本のヤマユリだそうです。ヤマユリは日本特産種で直径20cm以上もの大きな花を開きます。山野で遇うと、その大きさ、美しさ、強い香気に圧倒される思いがします。1873年ウィーン万博に出品されたヤマユリが西欧の人々を驚嘆させたのは有名ですが、さもありなんとおもいますね。

日本人はこの豪華な花そのものを愛するとともに、その鱗茎を百合根として古代から食材としてきました。この美しく、日本人にとって身近な花が、残念ながら減少しているようです。何年前か前、奥羽山脈中の花の山・和賀岳に単身登ろうとして山懐深く入っ

下 ヤマユリ 07年8月和佐又山



カサブランカ

たものの、夜間の豪雨に惧れをなして撤退し、翌日岩手県沢内村（当時）を南北に縦断する形でドライブしたことがありました。

雨後の澄んだ空気の中で、山々も田畑もそして村々も、しっとりとした表情を見せていましたが、その中でヤマユリが咲き誇っていました。山の斜面に、クヌギ林の縁に、墓地の法面に、いたる処で、水滴を煌かせながら、輝いていました。まさに風景の主人公でした。